

## 口腔の健康維持のため かみ合わせ治療を重視

もちろん、外科的処置以外にも配慮を怠らない。「患者さんの立場から考えると、確実な上に、痛みや腫れのない治療を提供することが大切でしよう」と、患者の負担を減らすことにも配慮。歯科麻酔担当の伊藤寛之歯科医師と協力し、眠っているような状態にする静脈内鎮静法で痛みや恐怖心を和らげるほか、薬剤を適切に使って、骨移植を伴う大がかりな手術でも腫れが早めに収まるよう努める。

さらに、インプラントの

## 要望に添つて方針を決め 確実な治療で応える

インプラント手術を行う金光院長。チーム医療で患者の負担が少なく、確実な処置を心がける

こうした多様な技術を高い水準で活用できるよう研鑽を重ねているのも、

広く落ち着いた雰囲気のカウンセリングルームで金

光千寿子副院長がカウンセリングを行っている。静脈内鎮静法を望む患者には、事前に伊藤歯科医師が問診と全身状態のチェックを行っており、立体画像であごの骨の厚みや血管・神経の位置を確認し、骨造成手術が必要か否かの判断も含め、正確なインプラント手術の指針とする。さらに、ミスのない確実な治療を行うため、

「歯科治療を通じて患者さんに幸福になつていただきたいというのが、皆が熱心に治療に取り組む動機ですね」と語る金光院長を含め、同院ではスタッフ全員が、患者の喜びを最優先に考える姿勢で治療に臨んでいる。

取材／鈴木健太

長期的な維持も心がける。そのために重視しているのがかみ合わせ治療だ。「歯を失った人は、かみ合わせのバランスが崩れていることが多いのです。中には頸関節症を抱える人もいます。

すべては患者の要望に応えるためだ。

同院では治療方針を患者主導で決定する。金光千寿子副院長が専属のカウンセラーとして、歯に関する悩みや治療に対する要望などを聞き、患者の要望を正しく把握。それらを基に、歯科医師全員による検討会で予算に応じた治療計画を複数立案し、患者に説明して共に方針を決めていく。

また、計画通りに治療を進めるため、歯科用CTを最大限に活用。術前に撮影した立体画像であごの骨の厚みや血管・神経の位置を確認し、骨造成手術が必要か否かの判断も含め、正確なインプラント手術の指針とする。さらに、ミスのない確実な治療を行うため、

## 患者の幸福を第一に よりよい治療を提供

同院には、インプラント用CTで埋入したインプラントの位置や角度を確認する。「術中の撮影は迅速に行う必要があるため、歯科用CTを2台設置し、すぐに撮影できる体制を整えています。こうした配慮は、インプラント治療の事故を防ぐためにも大切です」

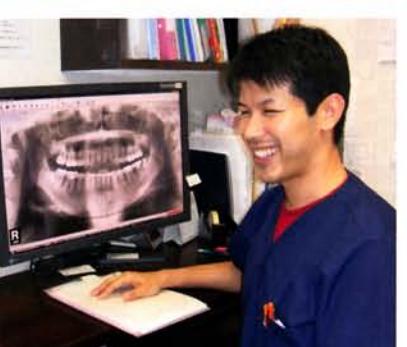


インプラント手術を行う金光院長。チーム医療で患者の負担が少なく、確実な処置を心がける



広く落ち着いた雰囲気のカウンセリングルームで金

光千寿子副院長がカウンセリングを行っている。静脈内鎮静法を望む患者には、事前に伊藤歯科医師が問診と全身状態のチェックを行っており、立体画像であごの骨の厚みや血管・神経の位置を確認し、骨造成手術が必要か否かの判断も含め、正確なインプラント手術の指針とする。さらに、ミスのない確実な治療を行うため、



静脈内鎮静法を望む患者には、事前に伊藤歯科医師が問診と全身状態のチェックを行っており、立体画像であごの骨の厚みや血管・神経の位置を確認し、骨造成手術が必要か否かの判断も含め、正確なインプラント手術の指針とする。さらに、ミスのない確実な治療を行うため、



受付業務は専属スタッフが行う



患者一人ひとりの治療計画を全歯科医師で話し合う医師検討会の様子



技工室はCAD/CAMなどを備え、日本でもまだめずらしい最先端のジルコニアクラウンも作製している